

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
生活の中の数学 Accessible Mathematics		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(就職試験対策を兼ねる)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小林 大輔	講義棟 1F	火曜～金曜 (授業、会議時間以外)		授業中に指示します
授業の概要				
日常生活の中で使う数学は主に中学校レベルのものであり、就職試験で出題される数学の問題のレベルもこれにほぼ該当する。本講義では採用試験で出題される数学全般にわたって復習する。				
授業の目標				
①文章問題を読解し、適切な方程式を立てられるようになる。 ②場合の数、確率の計算ができるようになる。 ③グラフ、図形を描くことができるようになる。				
授業の方法				
SPIの問題集を中心に問題を配布し、基本事項、重要事項について解説する。				
学習の成果（学習成果）				
①中学校レベルの数学の問題を解くことができる。 ②SPIの非言語領域の問題を解くことができる。 ③論理的思考ができる。 ④日常生活で必要な計算（割引計算、消費税、燃費計算等）ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	鶴亀算 濃度算			
第2回目	仕事算 水槽算			
第3回目	植木算			
第4回目	損益算			
第5回目	速度算 通過算			
第6回目	小テスト1 と解説			

第7回目	流水算	
第8回目	精算	
第9回目	割合	
第10回目	順列　組合せ　確率	
第11回目	集合	
第12回目	グラフ　図形	
第13回目	小テスト 2 と解説	
第14回目	SPI重要ポイントの解説	
第15回目	方程式、グラフ、図形、順列組合せ、確率	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート		
調査報告書		
小テスト	40%	小テストを2回実施する。1回目は主に方程式、2回目は主に順列組合せ、図形、グラフ。 配点はそれぞれ20点。
試験	60%	全範囲を対象に60点満点の学期末テストを実施する。2回の小テストの結果とあわせて、 100点満点で採点する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
毎回プリントを配布する。		
履修上の留意点・ルール		
なし		